

「地域で生きる」を 医療を通じて 支援する

浜田医療センターの理念

基本方針

1. 安全で良質な医療の提供
2. 患者に寄り添った医療
3. 介護・福祉との連携
4. 地域の町づくりに貢献
5. 地域住民と職員の健康増進
6. 持続可能な健全経営

患者さんの権利

- ・人格・価値観が尊重される権利
- ・良質な医療を受ける権利
- ・十分な説明と情報を得る権利
- ・自己決定の権利
- ・個人情報が守られる権利

当院を身近に知っていただくため公式ホームページ及び公式facebook・Instagramを作成しています。一度ご覧ください。

ホームページ

<https://hamada.hosp.go.jp/>



facebook

<https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter/>



Instagram

https://www.instagram.com/hamada_medical_center/



contents

- 2 リハビリテーション科のご紹介
- 3 リハビリテーション科医師紹介／新任医師紹介
- 4 最新の超音波検査装置導入のお知らせ
- 5 認定看護師の活動について
- 6 浜田港新型インフルエンザ検疫措置総合訓練／人権の花運動
- 7 がん相談支援センターだより
- 8～9 看護学校だより
- 10 市民公開講座の予定について／秋の特別メニュー
- 11 令和8年度採用看護師・助産師追加募集
- 12 外来診療担当医表

リハビリテーション科 のご紹介

リハビリテーション科士長 平野 哲生

私たちリハビリテーション科は「医療を通じて“地域で生きる”を支援する」という病院理念のもと、急性期・回復期・地域包括・緩和ケアなど、幅広い病期・分野に対応しています。現在、スタッフ総勢37名で日々診療に励んでいます。

今年度は、新しい取り組みが予定を含めて3つありますので、ご紹介いたします。

1. 新任医師の赴任、リハビリテーション科外来の開設

昨年度末に退職された井上医師の後任として、今年4月に島根大学医学部附属病院から新任医師(岸 咲貴子医師)が赴任しました。リハビリテーション科外来を当院4階に開設し、毎週水曜日の午前に外来診療、午後に検査・処置を行っています。嚥下障害、脳卒中後の痙攣、高齢者の廃用症候群などを対象に、評価・治療・リハビリ処方・生活指導を行います。

現在は院内主治医からの紹介が原則ですが、「地域で生きる」を支援するうえで、大きな一步になると考えています。

2. ドライビングシミュレーターの導入

関係機関のご協力のもと、当院5階に専用室を新設し、ドライビングシミュレーターを導入しました。

この機器は、自動車運転再開支援の評価や訓練に使用され、3台のモニターに映し出される道路や障害物を見ながら、実際にハンドル・アクセル・ブレーキを操作します。車が生活に欠かせない島根県西部において、「地域で生きる」を支援する重要な取り組みと考えています。



3. 休日リハビリテーションの拡大(今冬の予定)

現在、休日のリハビリは土曜日のみ対応していますが、今冬より回復期リハビリテーション病棟で日曜日のリハビリも開始する予定です。今後は、他病棟でも順次体制を整えていきます。

切れ目のないリハビリを提供することで、機能の改善はもちろん、早期の自宅復帰も期待されます。休日リハの拡大を通じて、「地域で生きる」をより力強く支援していきたいと考えています。

浜田医療センターは、島根県西部で唯一の三次救急医療を担いながら、在宅復帰まで幅広くカバーする地域の病院です。このような特徴をもつ病院は全国的に珍しく、スタッフには多彩なスキルが求められます。それだけに大きなやりがいがあります。今後もリハビリを通じて、皆様の「地域で生きる」を支援できるよう、スタッフ一同努力してまいります。